

真澄 (ますみ)

富士川第二小中一貫校 松野学園

中学部 学校だより

目指す子供像「夢を語れる子」

学校教育目標「自ら学び ともにみがき合う」

重点目標「やってみよう！」

令和5年6月16日 No.2

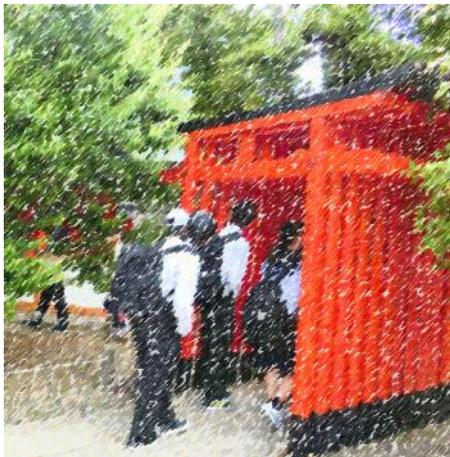
未来につながる宿泊行事でした

9年修学旅行・8年臨海学校・7年林間学校

5月26日（金）各学年の宿泊行事が無事終了しました。9年生は奈良・京都への修学旅行。8年生は焼津への臨海学校。7年生は大淵丸火への林間学校。それぞれが多くのことを掴み取り、一段と成長した姿で戻ってきました。また、帰校後の学校生活で、宿泊行事での学びを生かそうと意識している姿が随所に見られ、嬉しく思います。保護者の皆様には、温かいご理解・ご支援をいただき、ありがとうございました。

修学旅行について少し詳しく紹介します。

1日目は、奈良の法隆寺・東大寺そして京都宇治に移動し、平等院鳳凰堂を見学後、夜の嵐山散策を行いました。2日目は、京都の妙心寺で早朝に座禅体験を全体で行った後、ク



ラスごとに考え決定した見学を行いました。清水寺や

伏見稻荷、金閣寺などを訪れました。3日目は、課題別の少人数のグループに分かれて、タクシー研修を行いました。予約しての昼食や体験活動なども取り入れたグループもあり、明確な課題意識を持ち、綿密な事前学習を行ってからの見学・体験でした。

3日間間近で9年生の姿を見て、改めて9年生のすばらしさを発見しました。以下に簡単ではありますがまとめてみました。



① 意識しなくても、自然に楽しく学ぶ姿が多く見られたこと。

② 誰に対しても温かく接することができたこと。

③ 失敗をすぐに次の成長に結びつけたこと。

学校外の様々な方からもたくさん褒めていただき、本当にどこに行っても誇れる、自慢の9年生でした。

こうした良さが表れたのも、保護者・地域の皆様の温かいご支援のもと、7年生の頃から、計画的に人・もの・こととの出会いと関わりを繰り返し大事にしてきた結果だと思います。加えて7・8年生も9年生同様、本校の目指す子供像「夢を語れる子」に向けて、着実に力が育まれています。今後の活躍と成長が楽しみです。



↑8年生臨海 カヌー体験



↑7年生林間 洞窟探検

少しずつコロナ前の日常を取り戻しています

新型コロナウイルス感染症が5類になり、少しずつ以前の日常を取り戻しています。これまで毎日の健康チェックカードの提出など、様々なご協力をいただき、誠にありがとうございました。

学校での生活も、換気・手洗いなどの基本的な感染症対策を行いつつ、徐々にコロナ以前の状態に戻し始めています。授業では、回数や時間を気にすることなく対面形式によるグループワークを行うようになり、全体的話し合いで、全員が仲間の顔を見ながら学ぶことが出来るコの字型に机を配置したりするクラスもあります。仲間との学び合いを自然に行える本校の生徒にとって、こうした変化や工夫は、学びの質を更に高めていくことに繋がると期待しています。また、行事などへの参加制限も、状況を見ながら緩和していくつもりです。ぜひ、これからも、変わらぬご支援よろしく願いいたします。



↑コの字型の机配置

様々な活躍の場が今後も続きます

宿泊行事、定期テストなど、盛りだくさんの行事が順調に進んでいます。そのような中でも、学校での子供たちは、疲れを見せず、先を見て力強く前進しているように見えます。頼もしい限りです。

今後も、6月中は、9年生壮行会、中体連の大会や、各学年独自の行事等、目白押しです。さらに、次期児童生徒会選挙や10月の松翔祭スポーツの部の準備も既に動き始めています。子供たちの更なる活躍が楽しみです。

